市長発言要旨

【発表事項】

① 米沢品質 AWARD2026 公開プレゼンテーション(二次審査) 開催のお知らせ

米沢品質 AWARD は、米沢品質向上運動の中から生まれる「挑戦と創造」を究め、特に秀でた産品やサービスなどを顕彰する制度です。今年の公開プレゼンテーションは、10 月 6 日、午後 1 時 30 分から、伝国の杜 2 階大会議室で開催します。観覧は無料で、どなたでもご参加いただけます。

今年、一次審査を通過し、二次審査に臨むのは 4 チームです。

有限会社和泉屋は、ちぎり絵が持つ温もりと器づくりの技術をつなぎ、作り手から使い手へ「人を想うひと手間」を届ける挑戦です。

『(untitled)』(アン　タイトル)は、一人ひとりと向き合い、その人に合った時間と技術を届ける、理容の新しい価値とあり方を追求する挑戦です。

株式会社栄進鈑金製作所は、米沢で培ってきた板金加工の技術に、新しい視点や発信力を掛け合わせ、ものづくり企業としてのブランドづくりへの挑戦です。

合同会社りぶあっぷは、南原の「森のアトリエ」で、生豆の選別から焙煎、袋詰めまで行うコーヒーを通して、人を中心に考えた仕事づくりへの挑戦です。

当日は、挑戦と創造について、挑戦者から直接プレゼンテーションをしていただきます。ぜひ会場で、その想いや熱意を直接感じていただきたいと思います。

また、公開プレゼンテーションに先立ち、4 チームを紹介するショート動画を Instagram で順次発信しています。それぞれの挑戦の概要や魅力をご紹介していますので、ぜひ事前にご覧いただき、会場へお越しください。ぜひ、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

② 「児童発達支援オンラインサービス」の実証事業の開始について

米沢市官民連携 DX チャレンジプロジェクトの一環として、「児童発達支援オンラインサービス」の実証事業を令和８年１０月１日から開始することになりましたので、お知らせいたします。

このプロジェクトは、本市が進める DX の一環として実施されるもので、デジタル技術を活用して、より効率的で便利な行政サービスを市民の皆様にお届けすることを目指しています。

対象は、0 歳から 5 歳までの未就学児を育てているご家庭です。

お子さんの発達について「ちょっと気になる」「これって大丈夫？」と思った時に気軽に相談していただけるサービスです。サービスの特徴として、時間帯を気にすることなく LINE で相談したり、オンラインで専門家に相談できることや、オンライン発達検査を受けることもできます。もちろん、無料でご利用いただけます。

時間帯や場所に縛られることなく、いつでもご家庭の都合に合わせて自由にご利用いただけるサービスです。

また、この実証事業では、市民の皆さまからのご意見を積極的に取り入れ、サービスの改良を進めていきたいと考えております。乳幼児等健診の会場などで、ご案内リーフレットとアンケートを配布し、皆さまからのご意見をもとに、より良い取り組みへと進化させていきたいと思います。

米沢市は、このプロジェクトを通して「誰一人取り残さない支援」の実現を目指しています。

日々の子育てに対する不安や負担が少しでも軽くなり、みなさまが安心して暮らせる環境を整えていきたい。そんな思いから、この新しい取り組みをスタートいたしました。ぜひこの機会にサービスを体験していただき、みなさまの率直なご意見をお寄せください。

③ ラーメン湯治デジタルラリー 2026-2027 開催のお知らせ

今年、10 月 1 日から令和 9 年 2 月 28 日までの期間に、山形県米沢市、福島県会津若松市・喜多方市の 3 市を舞台とした「ラーメン湯治デジタルラリー2026-2027」を開催いたします。

このデジタルラリーは、3 市にあるラーメン店と日帰り温泉施設を巡り、それぞれの地域の食文化や温泉の魅力を楽しむことを目的としたイベントです。3 市を周遊するきっかけを提供し、米沢・会津地域への観光誘客を促進するために実施いたします。

参加方法は、専用サイト「CJ Monmo（シージェーモンモ）パス」に事前登録していただき、対象店舗のラーメン店や日帰り温泉施設に設置された QR コードをスマートフォンで読み取ることでポイントを獲得します。ポイントを集めると抽選に応募することができます。

6 ポイントを集めて応募すると、10,000 円相当の豪華特産品が当たる「A 賞」、3 ポイントを集めて応募すると、3,000 円相当の特産品詰め合わせセットが当たる「B 賞」に応募できます。「A 賞」は 6 名様、「B 賞」は 9 名様分ご用意しております。さらに、デジタルラリーへの参加だけでなく、対象店舗や施設で「ラーメン湯治デジタルラリー」の画面をご提示いただくことで、値引きやトッピングサービスなど、店舗・施設独自の特典を受けることができます。

開催期間は、10 月 1 日から来年の 2 月 28 日までの約 5 か月間となっております。この機会にぜひ米沢市・会津若松市・喜多方市を訪れ、それぞれの地域ならではのラーメンと温泉をお楽しみください。

なお、参加店舗や各施設の情報、参加方法などの詳細は専用サイトでご確認ください。多くの皆様にご参加いただき、ラーメンと温泉を楽しみながら会津・置賜地域の魅力を存分に感じていただければ幸いです。

【回答事項】

① 「米坂線について：改めてどのような形での復旧が望ましいと考えているのか、米沢市としての現時点の考えをお尋ねします。また、米坂線存続のために不可欠としていた乗車率向上のために、米沢市として方法や手段を検討・実施されたのかについて、具体的な回答をお願い致します。」について熱中症対策について

自治体としては、米沢市としても原状復帰を求めることがスタートラインであり、これは新潟県も含めて一致していますが、JR東日本は鉄路にした場合は上下分離なり第三セクターなりの考え方を示しており、従来どおりの形に戻ることはないということを明確にしているところです。また、費用負担にしても一定の試算を出しており、自治体にしても厳しい数字が出ているところです。こうした状況下で現在、丸 4 年が経過していますが、早期復旧という点では沿線自治体は一致していまして、こうした止まっている状況は動かさなくてならないというところも一致しています。以前も申し上げたとおり、被災自治体の考え方を最大限尊重すべきというのが米沢市の立場、立ち位置です。政治や行政の現場では、ベストにこだわるあまり、ゼロ成果ではなく、セカンドベストを求められることは往々にしてあります

ので、バス転換も選択肢から排除しないという飯豊町長の発言も理解します。ただ、その場合でもJRが運行に全責任を持ち、自治体に負担をかけないといったことが前提になると思います。いずれにしても、山形県の調整のもと、県内沿線自治体と連携し、対応していきたいと考えています。

次に米坂線の乗車率向上への取組でありますが、先日の米坂線開業１００周年記念イベントに参画しており、これまでもさまざま鉄道利用促進に向けた啓発活動を行っております。

また、本市は学園都市であり、市外から多くの学生が通学されていることから、米沢駅において鉄道との接続性に配慮したバスダイヤを設定し、乗り換えしやすい環境整備に努め、利用拡大に取り組んできました。また本市が重要事業として県に要望している中高一貫教育校のまちなか設置といったことも、汽車通を通じて米沢に通ってもらう、すなわち鉄道利用の促進に資する施策と考えています。

いずれにしましても、今後も沿線自治体が連携した観光やまちづくりが重要になると思っています。

②「水害対策について：千葉県をはじめ全国で頻発した水害において、いわゆる内水氾濫によって大きな被害がもたらされました。米沢市における内水氾濫の想定や対策についてお尋ねします。」について

本市における「内水氾濫」の想定や対策について御説明いたします。

国は（令和３年の水防法改正で、下水道による浸水対策を行う自治体に対し、想定される最大規模の降雨、具体的には1時間に150mm、これは実に1000年に一度というレベルの雨ですが、この雨に対する）雨水出水浸水想定区域を定め、公表することを義務付けました。これを受け、米沢市は公共下水道区域内での浸水シミュレーションを実施し、本年3月に雨水出水浸水想定区域を公表しました。

特に、市内4箇所（県管理1箇所、市管理3箇所）のアンダーパスは、大雨時に冠水しやすく、車両の水没事故のリスクが高いと認識されています。一方で、全ての水路や排水施設を想定降雨に対応させるには、相当な費用と期間を要するため、非常に難しいものと考えています。

この認識に基づき、米沢市は「施設整備によるハード対策」と「浸水リスクの周知や避難などのソフト対策」を組み合わせ、総合的に浸水被害の軽減を図ることが重要であると考えています。

まず、ハード対策といたしましては、今年度、過去に浸水被害が発生した地区を対象に、新たな雨水幹線の整備を想定したシミュレーション調査を今年度に実施いたします。

また、現在、市内全てのアンダーパスには排水ポンプが設置されており、これらは定期点検や維持管理を徹底しております。特に、「桑山アンダー」には、令和３年度に、水位に応じて自動で作動するエアー遮断機を2台設置しました。さらに、「花沢ガード」には、令和６年度に監視カメラと水位センサーを設置し、市役所から遠隔で状況を確認できる体制を整えております。排水ポンプに異常があった場合は、担当職員に自動で警報が届くシステムも導入しており、大雨の際には、迅速に通行規制を行い、市民の皆さんの安全を最優先いたします。

次に、ソフト対策としましては、既に公表している雨水出水浸水想定区域図を、現在見直しを進めている防災マップに反映させ、市民の皆様へ分かりやすく浸水リスクをお伝えするとともに、適切な避難行動につなげてまいります。

③「クマ対策について：多くの出没が心配される時期が近づいています。改めて米沢市の対策についてお尋ねしますとともに、市民への呼びかけ等がございましたらお聞かせください。」について

8月の定例記者会見でもご回答いたしましたが、市民への注意喚起の強化や関係機関及び町内における連携強化、捕獲を引き続き実施してまいります。

まもなく秋の行楽シーズンを迎え、キノコ狩りや登山、里山での作業などを行う機会が増える時期となりますが、この季節はクマの活動も活発になります。市公式SNSやクマ出没情報共有アプリ「けものおと」などで直近の目撃情報を確認してから行動してください。目撃情報があったところでは早朝・夜間の不要不急の外出を控えて下さい。山に入る際は、クマ鈴やラジオなどの音の出るものを携行し、必ず複数人で行動するようにしましょう。集落にクマを寄せ付けないため、ゴミは収集日当日に出すなどルールを厳守してください。さらに、柿や栗などの果実は放置せず、早めに収穫することが重要です。

本日時点では、昨年ほど目撃件数が多くない状況ではありますが、油断は禁物です。周囲の状況に十分注意し、安全第一で行動してください。

④「中学校体育館へのエアコン設置について：６月議会における統合中学校開校延期案の否決を受け、市長は中学校体育館へのエアコン整備計画を「白紙（一旦見直し）」とされました。この3ヶ月間での検討状況についてお聞かせください。また、その方向性をいつ頃までに示されますか。」について

中学校体育館のエアコン設置については、今年度、設計業務を進めているところですが、整備時期については、未定でございます。

設計額等を踏まえて、全体的な整備計画を検討し、令和9年度の予算編成過程の中で計画を詰めてまいりますので、方向性をお示しできるのは、新年度予算の概要説明の時期である2月頃と考えているところです。